



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月4日

上場会社名 株式会社JMS

上場取引所 東

コード番号 7702 URL <https://www.jms.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレート本部長 (氏名) 桂 龍司 TEL 082-243-5844

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	29,975	6.0	△44	—	56	△91.8	△68	—
2022年3月期第2四半期	28,275	1.3	614	△41.2	683	△39.4	497	△53.1

(注)包括利益 2023年3月期第2四半期 2,317百万円 (202.4%) 2022年3月期第2四半期 766百万円 (△33.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△2.80	—
2022年3月期第2四半期	20.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	74,692	39,213	52.3
2022年3月期	71,971	37,093	51.4

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 39,100百万円 2022年3月期 36,959百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2023年3月期	—	8.50	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	6.6	400	△59.2	400	△64.5	200	△75.8	8.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	24,733,466 株	2022年3月期	24,733,466 株
2023年3月期2Q	283,950 株	2022年3月期	301,499 株
2023年3月期2Q	24,437,394 株	2022年3月期2Q	24,423,861 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「かけがえのない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、経営の品質と企業価値の向上に努めております。

事業活動としましては、輸液・栄養領域、透析領域、外科治療領域、血液・細胞領域の4つの領域を中心に事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めております。

当第2四半期連結累計期間は、日本国内においては、急性血液浄化事業に係る販売が増加したほか、薬剤調製・投与クローズドシステムや人工心肺用回路の販売が堅調に推移したものの、医療用手袋や栄養セットなどの販売が減少しました。海外においては、国・地域ごとに状況は異なるものの、新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）の影響からの回復の兆しがみられ、血液バッグの販売が増加したほか、A V F 針（血液透析用針）の販売も好調に推移しました。

以上の結果、売上高は、円安による円貨換算額の増加も加わり、前年同四半期に比べ16億99百万円増加の299億75百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。

利益につきましては、増収効果はあるものの、原材料費や電力費、海上運賃の高騰による影響を受けたことに加え、労務費の増加や、段階的な販売活動の再開に伴い販売費が増加したことにより、営業損失は44百万円（前年同四半期は営業利益6億14百万円）となりました。また、為替差益や受取配当金の計上などにより、経常利益は56百万円（前年同四半期比91.8%減）となりました。これに投資有価証券売却益や法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は68百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益4億97百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

半導体等の調達難により一部製品の生産調整を行ったものの、急性血液浄化事業に係る販売が中国向けを含めて増加したほか、薬剤調製・投与クローズドシステムや人工心肺用回路の販売も堅調に推移したことにより、売上高は213億61百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。また、セグメント損益については、原材料費や電力費の高騰影響を受けたことに加え、円安による外貨建て仕入取引の円貨換算額や販売活動費の段階的な増加により、89百万円の損失（前年同四半期は5億87百万円の利益）となりました。

(シンガポール)

成分献血用回路の販売が北米において回復をみせたことに加え、血液バッグも台湾・パキスタン・インドネシア向けを中心に売上を伸ばしたことにより、売上高は105億15百万円（前年同四半期比25.7%増）となりました。また、セグメント利益については、原材料費や電力費、海上運賃の高騰影響があったものの、増収効果と為替差益の計上により、2億16百万円（前年同四半期比715.3%増）となりました。

(中国)

A V F 針や急性血液浄化回路の販売が堅調に推移したことに加え、関係会社向け材料供給も増加したことにより、売上高は18億78百万円（前年同四半期比14.5%増）となりました。また、セグメント利益については、原材料費の高騰に加え、労務費などの増加もあり、56百万円（前年同四半期比17.0%減）となりました。

(フィリピン)

欧州向けA V F針や日本向け輸液セットの販売が減少したものの、アジア向け血液バッグの増加と、円安による円貨換算額の増加により、売上高は16億68百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。また、セグメント利益については、原材料費や電力費の高騰により、45百万円（前年同四半期比70.8%減）となりました。

(ドイツ)

透析用チェアや透析キットの販売が増加したことにより、売上高は18億70百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。また、セグメント利益については、海上運賃の増加を増収効果で吸収し、71百万円（前年同四半期比16.4%増）となりました。

(その他)

北米向けA V F針の増加などにより、売上高は25億27百万円（前年同四半期比29.8%増）、セグメント損益は47百万円の損失（前年同四半期は19百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ27億21百万円増加の746億92百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ12億74百万円増加の413億17百万円となりました。この主な要因は、商品及び製品が増加したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ14億46百万円増加の333億75百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が増加したためであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ33億56百万円減少の194億91百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ39億57百万円増加の159億87百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ21億20百万円増加の392億13百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9ポイント上昇の52.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前年同四半期末に比べ7億44百万円減少の62億70百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ12億43百万円減少の2億33百万円となりました。この主な要因は、売上債権の変動によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前年同四半期に比べ3億89百万円増加の20億95百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ55百万円増加の10億16百万円となりました。この主な要因は、借入金の収支差額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日付けの「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました2023年3月期(通期)の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期第2四半期連結累計期間における業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,605	6,196
受取手形及び売掛金	16,077	16,316
有価証券	208	78
商品及び製品	8,815	9,494
仕掛品	2,848	3,213
原材料及び貯蔵品	4,870	5,218
その他	646	826
貸倒引当金	△29	△27
流動資産合計	40,042	41,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,621	9,406
機械装置及び運搬具（純額）	8,246	8,769
その他（純額）	8,592	8,832
有形固定資産合計	25,460	27,008
無形固定資産		
のれん	134	127
その他	900	828
無形固定資産合計	1,035	956
投資その他の資産		
投資その他の資産	5,519	5,497
貸倒引当金	△86	△87
投資その他の資産合計	5,432	5,410
固定資産合計	31,928	33,375
資産合計	71,971	74,692

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,482	7,903
短期借入金	3,450	1,717
1年内返済予定の長期借入金	4,604	4,054
未払法人税等	229	177
賞与引当金	1,097	1,144
資産除去債務	25	—
その他	4,958	4,494
流動負債合計	22,847	19,491
固定負債		
長期借入金	10,112	14,069
役員退職慰労引当金	139	149
退職給付に係る負債	653	678
資産除去債務	166	188
その他	958	900
固定負債合計	12,030	15,987
負債合計	34,878	35,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,351	10,351
利益剰余金	17,652	17,372
自己株式	△233	△219
株主資本合計	35,182	34,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	339	312
為替換算調整勘定	1,437	3,871
その他の包括利益累計額合計	1,777	4,184
非支配株主持分	133	113
純資産合計	37,093	39,213
負債純資産合計	71,971	74,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	28,275	29,975
売上原価	21,154	23,132
売上総利益	7,121	6,842
販売費及び一般管理費	6,506	6,887
営業利益又は営業損失(△)	614	△44
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	25	27
持分法による投資利益	68	—
為替差益	—	98
補助金収入	57	19
その他	56	77
営業外収益合計	211	231
営業外費用		
支払利息	84	79
持分法による投資損失	—	42
為替差損	50	—
その他	8	7
営業外費用合計	142	130
経常利益	683	56
特別利益		
固定資産売却益	2	6
投資有価証券売却益	—	57
特別利益合計	2	63
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産廃棄損	31	15
特別損失合計	31	15
税金等調整前四半期純利益	654	104
法人税、住民税及び事業税	150	152
法人税等調整額	13	40
法人税等合計	163	193
四半期純利益又は四半期純損失(△)	491	△88
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	△20
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	497	△68

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	491	△88
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	△27
為替換算調整勘定	305	2,433
その他の包括利益合計	275	2,406
四半期包括利益	766	2,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	777	2,338
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	△20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	654	104
減価償却費	1,634	1,791
のれん償却額	7	9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△85	△1
受取利息及び受取配当金	△28	△35
支払利息	84	79
為替差損益 (△は益)	7	△99
持分法による投資損益 (△は益)	△68	42
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△6
固定資産廃棄損	31	15
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△57
売上債権の増減額 (△は増加)	1,212	147
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△307	△538
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,340	△705
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△0	△53
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	141	△116
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△158	△113
その他	0	11
小計	1,781	470
利息及び配当金の受取額	28	35
利息の支払額	△84	△80
法人税等の支払額	△248	△192
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,477	233

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,257	△1,985
有形固定資産の売却による収入	4	6
無形固定資産の取得による支出	△207	△36
事業譲受による支出	△182	△10
投資有価証券の取得による支出	△15	△40
投資有価証券の売却による収入	—	96
その他	△48	△126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,706	△2,095
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,264	6,301
短期借入金の返済による支出	△11,182	△7,783
長期借入れによる収入	5,350	5,350
長期借入金の返済による支出	△2,128	△2,521
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△207	△207
非支配株主への配当金の支払額	△1	—
リース債務の返済による支出	△133	△122
財務活動によるキャッシュ・フロー	961	1,016
現金及び現金同等物に係る換算差額	59	304
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	791	△540
現金及び現金同等物の期首残高	6,222	6,810
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,014	6,270

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	日本	シンガ ポール (注)1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,362	4,358	856	8	1,742	26,328	1,947	28,275
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,180	4,006	784	1,571	3	7,546	—	7,546
計	20,542	8,365	1,640	1,580	1,745	33,874	1,947	35,822
セグメント利益又は損失(△)	587	26	67	154	61	896	19	916

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	896
「その他」の区分の利益又は損失(△)	19
セグメント間取引消去	△354
持分法投資利益又は損失(△)	69
その他の調整額	52
四半期連結損益計算書の経常利益	683

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,291	5,281	1,000	7	1,866	27,447	2,527	29,975
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,069	5,234	878	1,660	3	9,847	—	9,847
計	21,361	10,515	1,878	1,668	1,870	37,294	2,527	39,822
セグメント利益又は損失(△)	△89	216	56	45	71	299	△47	251

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	299
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△47
セグメント間取引消去	△133
持分法投資利益又は損失(△)	△42
その他の調整額	△19
四半期連結損益計算書の経常利益	56